

# つなぐ

さいちゅう  
レター2023年  
3・4月号  
vol.32

集中治療科

有馬 史人 先生

## 私たちと始めませんか？ 人生を考える「ACP」 自分らしい終末期を送るための思いを伝える

人は誰も老いていつか死を迎えます。当院では、すべての患者さんがご自身の思い描く終末期が送れるように、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取り組みを本格的にスタートします。あなたの人生や治療に対する思いを聞かせてください。ご家族や私たちと一緒に「人生会議」しませんか？

### ■ACP(アドバンス・ケア・プランニング)って何？

誰にでも、終末期についての漠然とした考えがあると思います。しかし実際には多くの人が人生の最期をどのように迎えたいかを表現できずに亡くなっていきます。最期まで自分らしい人生を送るために、元気なうちに人生に対する思いを家族や近い人、医療従事者と話し合い共有しておくこと、それがACPです。患者さんが重症化しお話ができない状態になってもACPを行っていれば、ご家族も安心して患者さんの思いに沿った治療法を選ぶことができます。医療従事者も患者さんの意にそぐわない医療を避けご本人の意向を最優先にした治療を提供できます。ご家族や医療従事者が一体となって、患者さんの満足いく終末期を作り上げていくことがACPの意義です。

### ■さいちゅうでの取り組み方を教えて！

当院ではこれまでも日常の診療の中で終末期をどう迎えたかについて患者さんの思いに耳を傾けてきましたが、それを伝えるチャンスに恵まれなかった人もたくさんいました。そこで、初めての外来患者さんおよび初めて入院する患者さんに対してACPIに関する用紙をお渡しし、患者さんが自発的にご自身の終末期に対する意思表示をできるようにしました。ポイントは具合が悪くなってからではなく元気なときに

お渡しすることと、強制ではなく患者さんご自身が書きたいときに書いていただくということ。この用紙が患者さんやご家族が終末期に思いを巡らせるきっかけとなればと思っています。また当院は、最期の瞬間まで患者さんご本人の思いを拾い上げた医療を提供していくことのできる病院でありたいと考えています。

### ■患者さんへのメッセージ

集中治療科で日々重症患者さんと接していると、患者さんの思いに沿った治療ができているのだろうかと思慮状況が時折あり、ACPの重要性を肌で感じています。ぜひACPの用紙に目を通していただき、患者さんご本人と家族や友人といった信頼できる人たちといつか来る終末期について話し合う場を持っていただければと思います。ACPIは延命治療や蘇生行為に対する意思表示ではありません。自分が何を大切にしている人生を送りどんな最期を迎えたいか、前向きに人生と向き合うためのものです。私たちのACPへの取り組みがそのお手伝いになればと思います。



◀ACPの用紙は  
こちらからご覧  
いただけます

## 健康づくりの豆知識

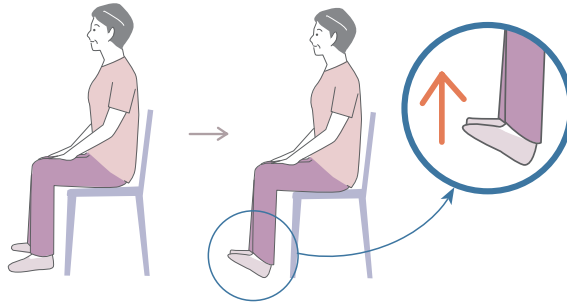
- ①椅子に座り背筋を伸ばします。
- ②かかととは床につけた状態で両足同時につま先を上げます。
- ③3秒間上げた状態を維持して、ゆっくり下げます。

### 効果

足関節の可動域を保ち、つま先を上げる筋肉を鍛えることで、つまずき予防、転倒予防につながります。

＼つまずき予防、転倒予防に!／

### つま先上げ運動



足首からしっかり曲げてつま先を持ち上げるようにしましょう

理学療法士  
小幡加奈さん

## NEWS

### 虹の아트展 ～Springtime 春風物語～ 開催案内

昨年末に開催して好評を頂いた地域で生きる障害児・障害者の方々のアート展「虹の아트展」春バージョンを院内で開催します。アートにふれて、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか？

たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

開催期間：2023年3月18日(土)～4月14日(金)  
開催場所：北棟2F 患者情報コーナー内



## TOPICS

### ＼さいちゅう ソーシャルインクルージョン活動!／ 焼き菓子販売会開催しました

2023年1月24日(火)に港区立障害保健福祉センターみなとワークアクティさんのご協力のもと、職員向け企画として焼き菓子販売会を開催しました。多くの職員が販売会に来場したこともあり、開始後わずか40分で約300個の焼き菓子が完売しました。

開催後の職員アンケートでは、今後も定期的に開催してほしいとの声が多数寄せられました。今回の企画は、ソーシャルインクルージョン推進事業として当院が取り組んでいる「みんなとプロジェクト」のPRも行い、しばみつマドレーヌも販売することができました。

今後は患者さん向けの販売会も企画予定です。



## ご寄付のお知らせ

「なでしこ基金」へのご寄付ありがとうございました。

2022年12月～2023年1月

400万円… 小倉 律子 様

10万円… 匿名 5万円… 宮崎 雅浩 様 3万円… 匿名 1万円… 匿名

8万7307円… 募金箱

発行:海老原 全 編集:広報委員会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-17  
TEL:03-3451-8211 FAX:03-3457-7949



社会福祉法人 豊済生会支部 東京都済生会  
東京都済生会中央病院

